

第1529回例会  
(和食)

## 退会式／創立34周年記念例会

子どもや学生に文化体験を提供。文化をもっと生活の身近に！

2025年4月16日(水)

(令和7年)晴 No.29

- 司会 加藤友康会場運営委員  
□ ロータリーソング 清水順二ソングリーダー委員  
「君が代」「輝く理想」  
□ ゲスト紹介 寺西英宏親睦活動・家族委員  
第34回椿賞受賞者  
(株) Sonoligo 代表取締役 遠山寛治様

- 出席報告 依田耕治出席・ニコボックス委員  
会員数78名(免除者15(11+4)名)  
義務者出席55名 免除者出席10名 総数65名  
出席率89.04%



## 会長あいさつ

寛 正紀会長

今日はめでたく創立34周年の記念例会を迎えることができました。それに先立ち、名駅RCができた34年前の1991年に何が

あったのかを振り返りたいと思い、調べてみました。

まず政治と国際関係では、①1月17日多国籍軍がイラクへの空爆を開始し、湾岸戦争が勃発。2月27日クウェートが解放されました。②ソビエト連邦の崩壊。③バルト三国(エストニア、ラトビア、リトアニア)がソ連から独立。④南アフリカでアパルトヘイト政策が終焉。⑤前年統一されたドイツでベルリンが再び首都に。⑥ユーゴスラビア紛争が始まり、スロベニアとクロアチアが独立。

科学と技術分野では、①WWW(World Wide Web)が誕生。ティム・バーナーズ＝リーによって最初のウェブサイトが公開。②NASAのガリレオ探査機が木星に向けて進行中。

次に国内に目を向けますと、①バブル経済の終焉。②東京都庁が新宿区西新宿に移転。③雲仙普賢岳が噴火。火砕流で多くの犠牲者が出ました。④新幹線300系の登場。最高速度325.7kmを記録。⑤バブ

ル時代の象徴・ジュリアナ東京がオープン。

スポーツとエンターテインメントでは、①相撲界で横綱千代の富士が引退して若貴兄弟が活躍。②小田和正の「ラブストーリーは突然に」やCHAGE & ASKAの「SAY YES」、映画では「おもひでぼろぼろ」や「ターミネーター2」が大ヒット。

これらの出来事を見ると、1991年がいかに変化に富んだ年であったかが分かります。

34年を経た現在、戦争や将来への不安、自然災害、環境破壊といった言葉が飛び交っております。だからこそ私たちはロータリークラブの活動を通じて少しでも世の中を明るくし、輝かしい未来を築くために行動していくことが大切だと感じます。

## □ 幹事報告 加藤定伸幹事

- (1)本日の配布物／①椿賞記念卓話資料。②RFFのチケット(例会分2枚とお申込み分)、③地区研修・協議会の名札と当日案内(登録者のみ)。  
(2)RFFチケットのお申込み分に赤い印が付いている方はチケットのお支払いがまだの方ですので、当日までにお支払い下さい。  
(3)5月11日(日)はRFF会場(エディオン久屋公園)で例会を開催(11時開始)。メールを配信しますので5月8日(水)までに出欠をご回答下さい。

## 4月は母子の健康月間／名駅RC 春の健康感謝月間です

## &lt; 例会開催予定 &gt;

◇第1530回 4月23日(水) 通常例会(洋食)

元米山奨学生 プイティホアさん

新米山奨学生 莊 羽護さん

【例会後】第10回理事会

4月30日(水) 休会 クラブ休日/定款第7条第1節(d)(1) 4/29祝日分

5月 7日(水) 休会 クラブ休日/定款第7条第1節(d)(1) 5/5祝日分

◇第1531回 5月11日(日) 例会変更(5/14例会の振替)

RFF 例会(RFF会場：エディオン久屋公園)

例会開始：11時

ゲスト：米山奨学生 莊 羽護さん

青少年交換 受入れ エンニさん

候補生 溝口心奏さん

(4)2025-26年度のための地区研修・協議会が4月20日(日) マリオットアソシアホテルにて開催。登録者には名札と当日のご案内を配布しました。昼食ありの方は10時45分～12時に会場で昼食をとって下さい。昼食なしの方は本会議から(12時30分点鐘、16階タワーズボールルーム)。次年度の幹事、副幹事が席を確保しますので、西名古屋分区の名駅RCの席にお越し下さい。

□退会式

◇「さよならロータリアン」斉唱 清水順二ソングリーダー

◇退会のあいさつ 宮野正彦さん

この2年間、大変お世話になりました。まだまだロータリーで頑張りがたかったですし、東海東京証券のオルクドールも名古屋で更に盛り上げたいと思いましたが、突然の異動で本当に残念です。



今回、グループの十六TT証券に異動することになりました。十六銀行とのジョイントベンチャーで2019年に立ち上げた証券会社です。

この2年間振り返ってみますと本当にあっという間でした。ロータリーを通じて色々な方々とお話しさせて頂いたこと、例会での会長あいさつや卓話は私にとって貴重な時間でした。ロータリーの例会は自分を取り戻す時間、癒しの時間でもあったと感じています。どうもありがとうございました。

◇バナー贈呈 笥 正紀会長

□お食事タイム

当クラブ創立34周年にあたり名鉄グランドホテル様よりご厚志でシャンパンをご提供頂きました。山本総支配人はじめ名鉄グランドホテルの皆様には日頃よりお世話になり、心よりお礼申し上げます。

□乾杯 辻 雅人副会長

名駅RCが34周年を迎えることとなりました。この34年の歩みの中で名駅RCを支えて下さいました会員の皆様、OBの皆様心に心より感謝を申し上げます。乾杯の音頭をとらせて頂きます。

名古屋名駅RCの更なる発展を祈念して、乾杯！

□城野八代江さん 米寿のお祝い

◇お祝いの品贈呈 笥 正紀会長

◇あいさつ 城野八代江さん

本日は皆様お集まりのところ私88歳のお祝いをして頂き、誠にありがとうございます。感無量でございます。



皆様とご一緒させて頂いて20年。毎週の例会も私の楽しみの1つとなっております。言葉では言い表せない程感謝しております。ありがとうございます。

椿賞授賞式

椿賞委員会

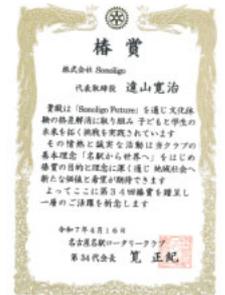
藤井圓隆委員長

第34回椿賞受賞者 株式会社 Sonoligo 代表取締役の遠山寛治様は、1994年愛知県刈谷市のご出身です。名古屋大学大学院在学中にドイツのミュンヘン工科大学に留学され、ドイツの文化レベルの高さに触発されて、帰国後、名大発ベンチャー企業の株式会社 Sonoligo を設立。情操文化教育のサブスクリプションとも言うべき事業を立ち上げられました。また、この度名古屋市との連携で多種多様な文化体験事業を行うことが決定しました。

こうしたスタートアップ企業への椿賞の授与は初めとなります。更なる飛躍を期待しております。

◇賞状並びに副賞の目録贈呈

笥 正紀会長



椿賞受賞記念卓話



株式会社 Sonoligo 代表取締役 遠山寛治様

(株) Sonoligo の遠山と申します。この度は名誉ある椿賞を頂き、誠にありがとうございます。

弊社は2018年設立した名古屋大学発のベンチャー企業です。

会社として目指しているのは「文化の民主化」です。クラシック、スポーツ、美術、伝統芸能など、色々な文化体験をもっと身近にしたいと考えています。

まず会社を立ち上げるまでの経緯をお話しします。私はずっとサクソという楽器をやっていて、大学時代は国際コンクールに出るなど頑張っていました。音大の友達と演奏活動をしていましたが、音楽で生きていくのは難しいなど実感しました。

大学院ではAIや自動運転などを研究する研究室にいて、そうしたテクノロジーを使えば音楽などの業界を変えられるのではないかと考えていました。

会社を立ち上げる1年前にドイツのミュンヘン工科大学に留学しました。ドイツに行くと、平日でも2500人のホールが毎回満席になるくらい日常的に文化体験をしていることに驚きました。サッカーのバイエルンミュンヘンというチームは7万人入るスタジアムが毎回チケットが取れない程の人気です。美術館にも小さいお子さんからお年寄りまで沢山の人がいます。こういう景色を色々なところで見て、大事なものは文化ではないかと思いました。文化を持つ生活を全ての人々の「当たり前」にしたいと思い、ドイツから帰国して会社を立ち上げました。

私の憧れの人でありロールモデルは、シンガポール建国の父であるリー・クアンユーさんです。60年前にマレーシアから独立した際、産業もゼロ、エネルギー自給率も食糧自給率もゼロという状態からシンガポールを世界有数の経済大国にした人であり、参考にすべき部分が沢山あると思っています。

私が長期的構想として思い描いている3段階のビジョンがあります。

- ①ボトムアップ = Sonoligo Future
- ②文化・教養・人間力を持った世界で戦える"人"を育てる
- ③新しい大きな産業を創る、です。

## ● Sonoligo Future はどうして生まれたか

①の Sonoligo Future は2年程前から始めた取り組みで、名古屋市内の子どもや学生たちに多様な文化体験の機会を提供しています。名古屋市内の0歳から小中高、大学生まで誰でも、ドラゴンズ、名フィル、グランパス、映画館などのチケットを無償で入手することができます。場合によっては保護者の方も無償でチケットが入手できます。

Sonoligo Future を始めた背景を簡単に説明させていただきます。

国際的に見ると日本の文化支出は先進国の中で一番少なく、国民1人あたりではフランスや韓国の7分の1程です。特にコロナ禍の際に「子どもの体験格差」をかなり耳にしました。調べますと、今全体の約半数のご家庭が貧困層及び準貧困層となっています。ご家庭の経済状況と子どもの文化体験の機会には明確に相関があり、お金がある世帯は子どもに多くの文化体験を提供できていますが、お金がない世帯は体験機会も少なくなっています。

それに拍車をかけるのが、部活動の縮小です。特に中学校の部活動が影響を受けるのですが、名古屋市も今年10月から土日の部活動は一切禁止になり、平日も週4日×1.5時間に制限され、地域クラブに移行していきます。部活動は無償で色々な体験ができ、そこから様々なスポーツ選手や音楽家が育ってきたのですが、部活動がなくなったり有償化されたりすれば更に格差が開いてしまいます。

大切なのは文化体験です。小さい頃から文化体験をした子の方が色々な能力も上がるという研究も出ています。また、小さい頃から文化体験を習慣化することで、街の活性化にも繋がります。

現在、小学2年生は年2回程しか文化体験をしていません。Sonoligo Future を提供することで月1回は外出し文化体験をしてほしいと思います。子どもの頃からこういう習慣を持てば、生涯を通じて文化体験を楽しんでもらえると思います。



ゲームやスマホの普及によって、家にこもることも増えています。外に出るともっと楽しいんだよ、ということ伝えていきたいなと思っています。

## ● 名古屋市や企業との連携

これまでパロマ様、名鉄様など企業様からスポンサードして頂いていたのですが、この取り組みを名古屋市が高く評価して下さい、今年4月、名古屋市との連携協定を締結しました。事業主体に名古屋市も入り、弊社と名古屋市の共同事業のような形に位置付けられました。こうした連携協定は民間企業としては弊社が初めてだということです。

今まで企業様が弊社に直接スポンサードして下さっていましたが、この連携協定により名古屋市に寄付する形でスポンサードできるようになります。名古屋市は寄付金として受け取り、それを弊社に回して頂くこととなります。寄付でするので企業様は損金算入して税控除ができます。また、名古屋市外の企業様に関しては企業版ふるさと納税という制度を適用して寄付を受けられるようになりました。名古屋市外の企業様は寄付をすると最大90%が税控除され、実費負担10%で社会貢献ができます。

また、今までは既存のイベントやチケットが対象でしたが、今後はそれに加えて、寄付金の30%を活用してその寄付企業様ごとにオーダーメイドのイベントを作り、弊社と名古屋市と共催する枠組みも進めていきます。それも名古屋市の子どもや学生は無償で体験できるようにしようと考えています。

例えば、名古屋銀行様とは子ども向けのサーカス公演の協議中です。ケイティケイ様は名古屋大学で名大の先生に子ども向けの分かりやすい講演をしてもらい、子どもたちに研究の楽しさを伝える企画を予定しています。初回は名大の杉山総長に講演をして頂きます。タキヒヨー様とは親子で行う有松絞り体験イベントを検討して頂いています。その他にも色々なイベントを計画しています。

広報については、中日本興業様が全映画の上映前に Sonoligo Future のCM を流して頂いています。名鉄様は年1回名鉄の全車両にポスターを貼って頂いています。

名古屋市が事業主体に入るので、名古屋市の広報媒体も使ったPRもしていきます。6月には広沢市長と一緒に記者会見をし、今回の取り組み概要や寄付企業様とのイベント企画を発表する予定です。他にも名古屋市のウェブサイトやSNS、「広報なごや」なども使ってPRしていこうと思っています。

Sonoligo Future の対象は現在は名古屋市だけです。名古屋市でしっかり形を作って、他の自治体にも展開をしていき、ゆくゆくは全国でこの取り組みが使えるようにするのが1つの目標です。

## ● 世界で戦える"人"を育てる

次に、3段階のビジョンの2番目「文化・教養・人間力を持った世界で戦える"人"を育てる」という点についてお話しします。

進学塾・名進研様はお子さん向けの事業をされているので私たちの取り組みと親和性が高く、去年から弊社と名進研様



と名古屋大学が一緒になってシンガポールの短期研修プログラムを進めています。先々週、私もシンガポールに行き第1回のプログラムを実施してきました。場所はシンガポール国立大学(NUS)です。名古屋大学とNUSは非常に強力な連携にあり、国立大学で唯一NUSの中に名古屋大学の法人拠点があります。そういう関係もあり、この地域の小中学生の子どもたちをNUSに連れて行って本気の授業をするプログラムを実施しました。

NUSの学生との交流や企業家教育など色々なプログラムを行いました。元モルガンスタンレー副会長には子ども向けの本気の金融教育をして頂きました。シンガポールにあるgoogleのオフィスにもNUSのコネクションを入れて頂きました。

一切妥協なしのプログラムを子どもたちにぶつけてみました。おそらく日本の小中学生がNUSでこれだけのプログラムを実施したのは初めてだと思います。コロナの影響もあり、今回初めて海外に行ったという子も沢山いました。子どもたちは大変触発されたようで、将来NUSに入りたい、海外行ってすごく面白い、といった声が沢山聞かれました。

### ● 早い時期に海外経験の機会を

基本的に海外に出る時は1~2週間の短期研修、半年~1年の長期留学、それから海外の大学や大学院に入る、というようにステップを踏んでいくことが多いのですが、大体皆さん大学の時に短期研修をします。私もそうでした。

しかし大学の時点で短期研修をしたのでは遅いのです。私は大学院で1年間留学して、その後海外の大学院に行きたいと思ったのですが、間に合わず実現できませんでした。

そういう経験があるので、一番初めの短期研修を高校生、中学生、小学生といった早期に行える制度を作りたいと思います。そうすると大学から海外大学に行きたいと思った時にも全然間に合います。それによって子どもたちの選択肢が広がります。

今後も名進研様と協業して留学プログラムを増やしていくと共に、先程の名古屋市とのSonoligo Futureに関する連携でも海外の留学プログラムを進めていきたいと考えています。寄付企業様のお金を一部使って、この地域のポテンシャルがある子を選抜して海外に連れていき、幼少期から質の高い経験をしてもらおうと思っています。

私の経験ですが、実は大学2年生だった10年前、20歳の時に名古屋大学の短期研修プログラムで、名大が連携しているタイの東大と言われるチュロンコン大学に行きました。すごく楽しくて良い思い出ではあるのですが、ここでタイの同世代

の人たちとの圧倒的な力量の差を感じました。タイの20~21歳の子と話をすると、タイ語、英語、日本語、中国語の4力国語を操っている子が沢山います。一方、自分も含めた名大生は英語もあまり話せず日本語だけという状況で、無残なくらいに力の差を見せつけられました。

こういうことがあって私自身はもっと長期留学をしようと英語の勉強などを頑張って、大学院の時にミュンヘン工科大学に行くことができました。

少なくとも英語が話せないとグローバルでは相手にもならないと私は20歳の時に経験しましたが、子どもたちにはそれをもっと早い時期に経験してほしいと思います。今後はもっと早い時期から質の良いプログラムをこの地域の小中高生にどんどん提供していこうと思っています。

最初にあげた3段階のビジョンのうちで、①のSonoligo Futureは形ができたところで、②の「世界で戦える"人"を育てる」は今取り組んでいてこれからという段階です。そして、こうした取り組みによって良い人材が揃っていくと、③の「新しい大きな産業を創る」ことができるのではないかと思います。これは弊社が事業として行うというよりは、ここで育ってきた子が、この地域で強い製造業だけではなく、何かもう1本大きい柱となるような産業を作ってくれたらいいなと思っています。

今後もしっかりと世界に目を向けて、皆さんのお力添えも頂きながら頑張っていきたいと思っています。

この度は素敵な賞を頂き、誠にありがとうございました。

### ニコボックス 依田耕治出席・ニコボックス委員

- 創立34周年を祝して。椿賞受賞者 Sonoligo 遠山寛治様、受賞卓話を宜しくお願ひします。(寛 正紀さん)
- 城野さん、米寿おめでとうござひます。是非ゴルフにお誘ひ下さい。益々のご健勝を祈念申し上げます。(辻 雅人さん)
- 名駅名物 椿賞を(株)Sonoligo 遠山さんにお渡しすることができて！(加藤定伸さん)
- 本人誕生日。母に感謝です。(吉田勝仁さん)
- 本人誕生日。入会早々にも関わらず誕生日プレゼントをありがとうございました。(羽鳥哲章さん)
- ①34周年をお祝ひして。②宮野さん、短い間でしたが色々お世話になりました。お近くですからまた顔を出して下さい。③城野さんの米寿をお祝ひして。(神野重行さん)
- 遠山さん、椿賞受賞おめでとうござひます。更なる活躍を楽しみにしています。(日比野三吉彦さん、柴 芳郎さん)
- 椿賞受賞者の遠山寛治様をお迎へして。(藤井園隆さん)
- Sonoligo 遠山様、椿賞受賞おめでとうござひます。(西川達郎さん)
- 健康に感謝。(千田 聡さん)
- 本日はお祝ひ頂き、ありがとうございました。(城野八代江さん)
- 2年間大変お世話になりました。色々ありがとうございました。(宮野正彦さん)
- 創立34周年を祝して。(二ノ宮眞佑恵さん)
- 34周年、おめでとうござひます。(高田統夫さん)
- 創立34周年、おめでとうござひます。(加藤友康さん)
- 名駅ロータリー創立34周年、おめでとうござひます。(米坂みよ古さん)
- 第34回記念例会を祝して。(川村勝廣さん)
- 創立34周年を記念して。(近藤元帥さん)
- 創立34周年記念を祝して。(伊藤清志さん)
- 城野さんの米寿を祝して。(齋藤孝一さん)
- 名駅ロータリー週間。(近藤かえでさん、木内恒夫さん)
- ご芳志。(宮下一成さん)